

工明会運動感想

フットサル/航空宇宙 A

M1 池野航太

運動会でのサッカーの試合では、チームとしても個人としても多くの学びがありました。グループリーグで一位通過できたことは、日頃の練習の成果が発揮された結果であり、非常に嬉しいものでした。しかし、リーグ戦初戦で敗北してしまったことは悔しさが残ります。この敗戦からも、たくさんの気づきと課題を得られたように思います。

まず、グループリーグ戦を振り返ると、チームワークの重要性が改めて感じられました。私たちはそれぞれの得意分野を活かして、連携を取りながら戦うことができました。ディフェンス陣は相手の攻撃をしっかり抑え、ミッドフィールダーは攻守の切り替えをスムーズに行い、フォワードは決定的な場面で確実にゴールを狙う姿勢が見られました。各ポジションが役割を果たし、相手チームに対して常にプレッシャーをかけてプレーできたことが、勝利につながった要因だと感じます。

しかし、リーグ戦に進んでからは、グループリーグでの勝利がむしろ慢心を生んでいたのかもしれない。初戦の相手チームは、私たち以上に気迫があり、個々の技術も非常に高かったです。特に試合の序盤でリードを奪われたことで、私たちのメンタルが崩れてしまい、焦りからミスが増えてしまいました。追いつこうとするあまり個人プレーが目立つようになり、チーム全体のリズムが崩れ、相手にペースを握られる展開になってしまいました。

また、この試合を通じて、チームとしてのコミュニケーション不足も痛感しました。試合中に声を掛け合うことでお互いをサポートし合うことが重要であるにもかかわらず、黙々とプレーに集中しすぎてしまい、連携がうまく取れない場面が多く見られました。これにより、ディフェンスラインの乱れや、パスミスが目立つようになり、結果として相手にボールを奪われやすい状況を作ってしまいました。

今回の経験から、今後に向けて改善すべき点が多く見えてきました。まず、メンタル面の強化が必要です。どんなにリードされても落ち着いてプレーすることができれば、焦らず冷静な判断ができるようになるはずです。そして、試合中のコミュニケーションを増やし、互いにサポートし合う体制を整えれば、チーム全体で相手に対応できるようになるでしょう。

運動会でのサッカーを通じて、勝つ喜びと負ける悔しさ、そして何よりもチームとして成長する大切さを学びました。この経験を糧に、次回は更にレベルアップした姿で臨みたいと思います。